

平成26年度公共事業事後評価(道路事業)

一般国道473号

じぞうとうげ

地蔵峠バイパス

静岡県交通基盤部 道路局 道路整備課



# 2 事業の概要及び目的

## 【事業概要】

事業期間：平成13年度～平成21年度

事業費：14.09億円

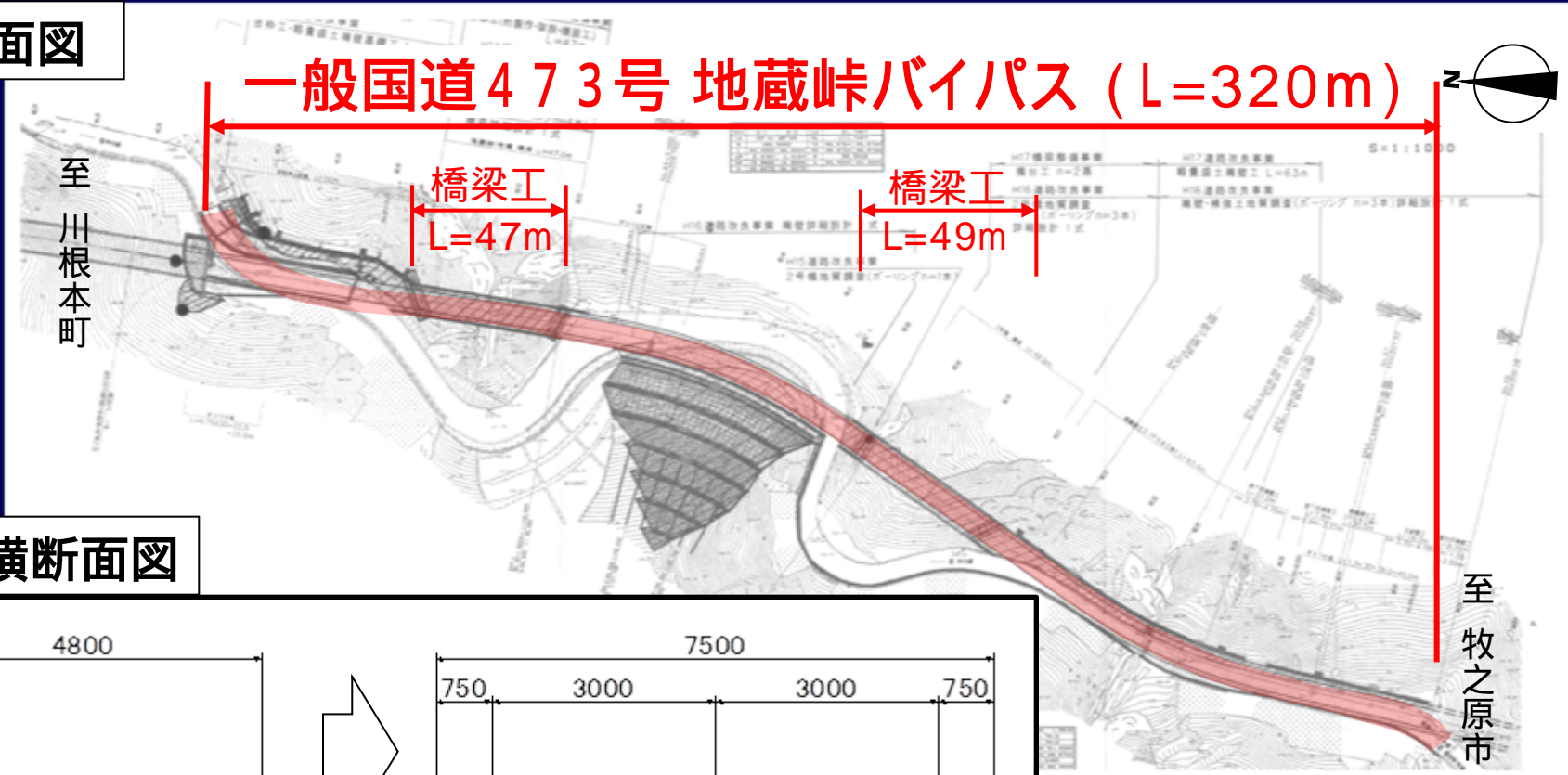
事業延長：320m

## 【事業目的】

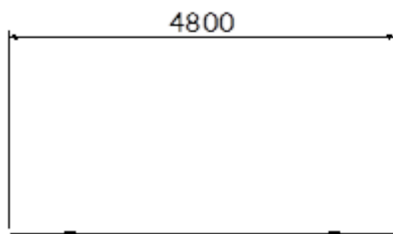
安全で円滑な交通を確保し  
道路ネットワークの強化を図る

- ・幅員狭小箇所への解消
- ・線形不良箇所の解消

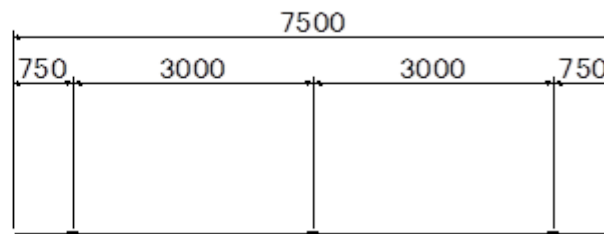
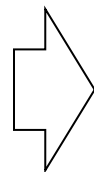
## 平面図



## 標準横断面図



< 整備前 >

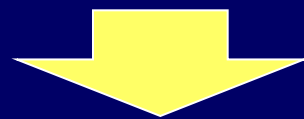


< 整備後 >

### 3 事業の投資効果(費用対効果の検証)

総費用 ( C )	18.85億円 ( 現在価値換算 )
事業費	18.72億円
維持管理費	0.13億円

総便益 ( B )	29.23億円 ( 現在価値換算 )
走行時間短縮便益	23.59億円
走行経費減少便益	4.98億円
交通事故減少便益	0.66億円



費用対効果 ( B / C )	1.55
-----------------	------

# 4 事業効果(安全で円滑な交通の確保)

< 整備前 >



線形不良状況

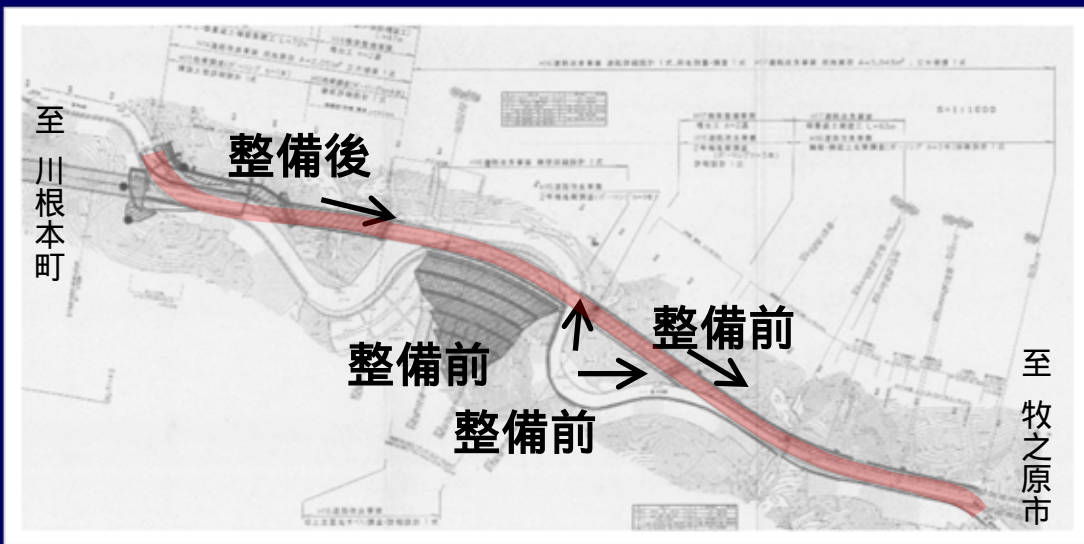


線形不良状況



すれ違い困難状況

（事後） - 道路 - 6



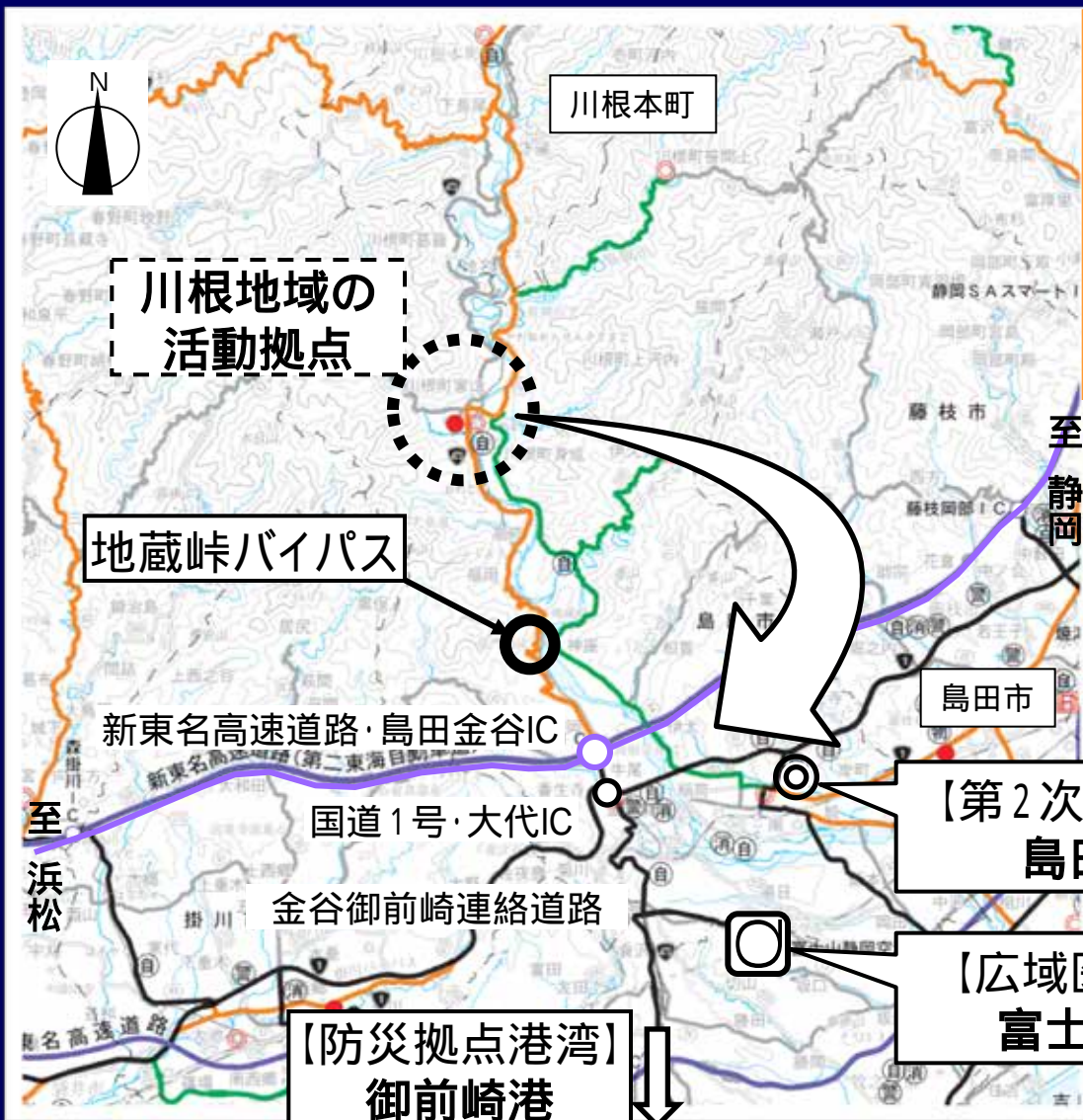
< 整備後 >



安全で円滑な交通が確保された

# 4 事業効果(緊急輸送路の強化)

静岡県緊急輸送路図



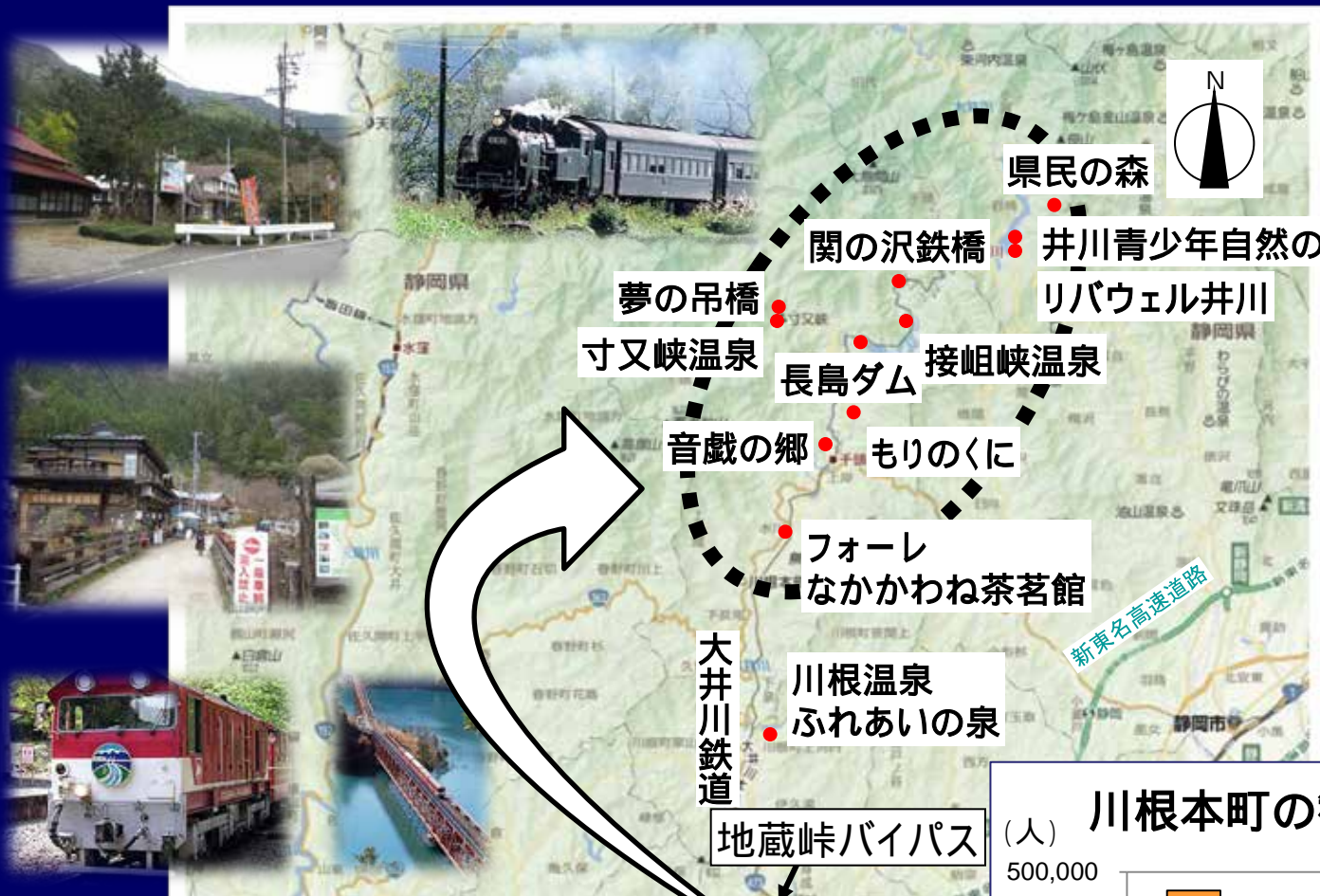
- ・未改良区間の減少による緊急輸送路の強化
- ・リダンダンシーの向上
- ・国道1号や新東名へのアクセス機能向上

凡 例	
	1次緊急輸送路
	1次緊急輸送路(高規格道路)
	2次緊急輸送路
	3次緊急輸送路

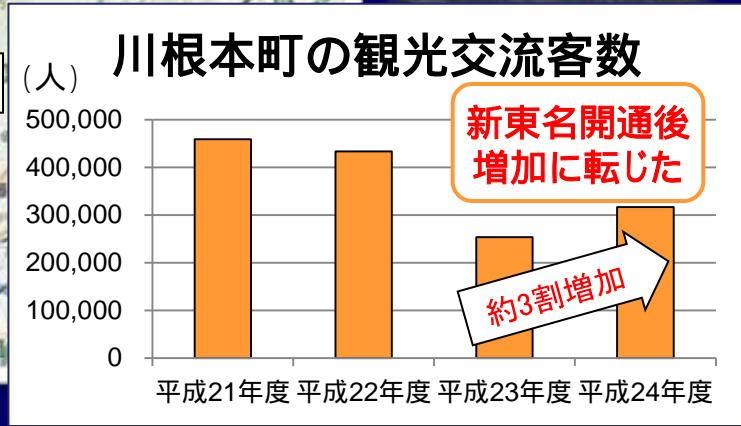
(事後) - 道路 - 7

# 4 事業効果(広域観光・交流の促進)

(事後) - 道路 - 8



**新東名の開通に伴う  
国道473号の整備による  
広域観光・交流の促進**



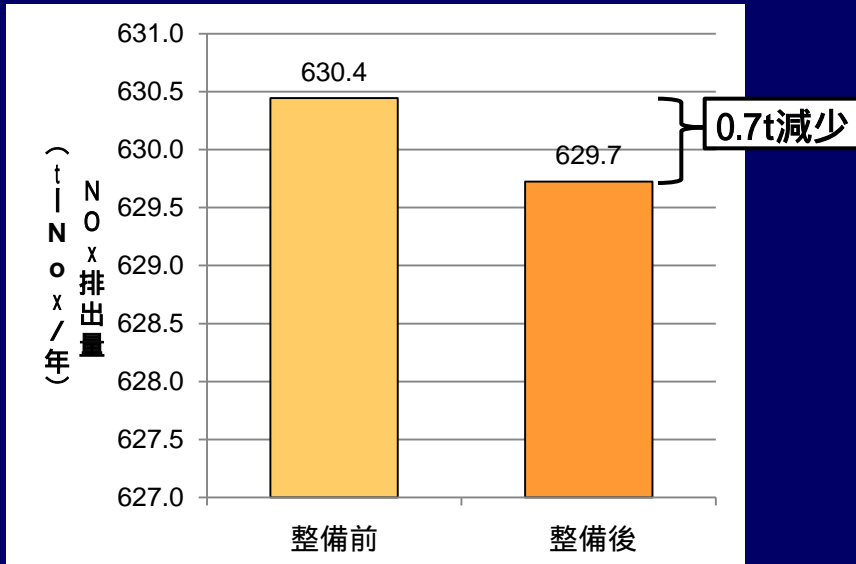
富士山静岡空港

写真出典:「川根本町まちづくり観光協会HP」、県資料

資料:年度別観光交流客数の推移(県観光統計データ)

# 5 事業実施による環境の変化

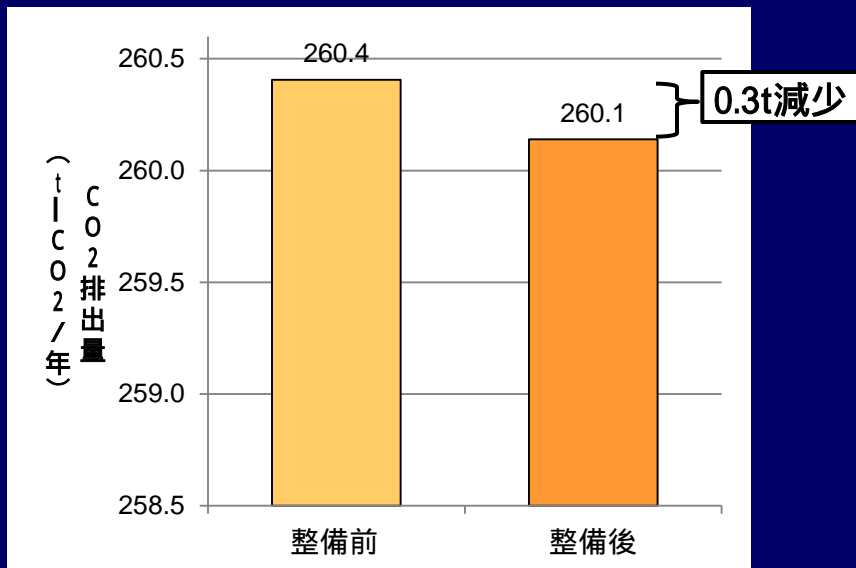
## < NOx排出削減量 >



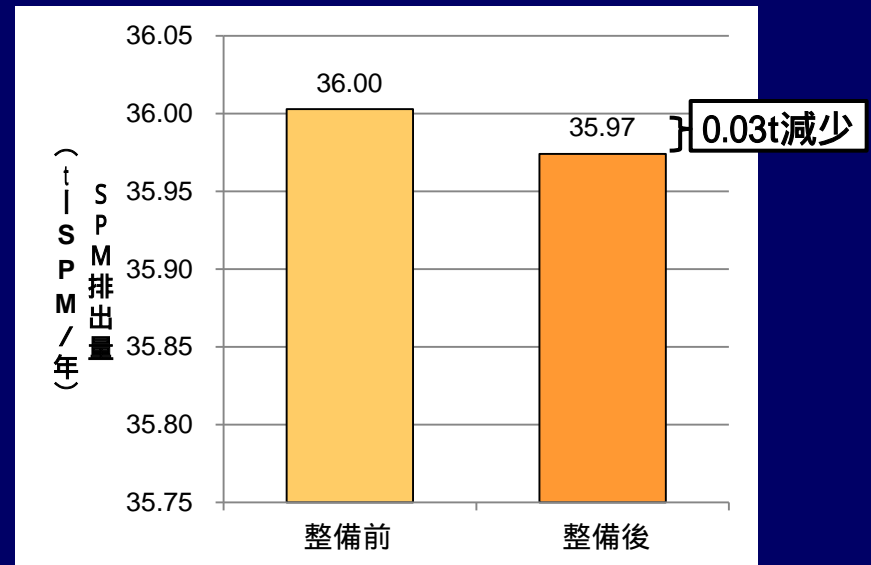
## < 現在の法面緑化状況 >



## < CO2排出削減量 >

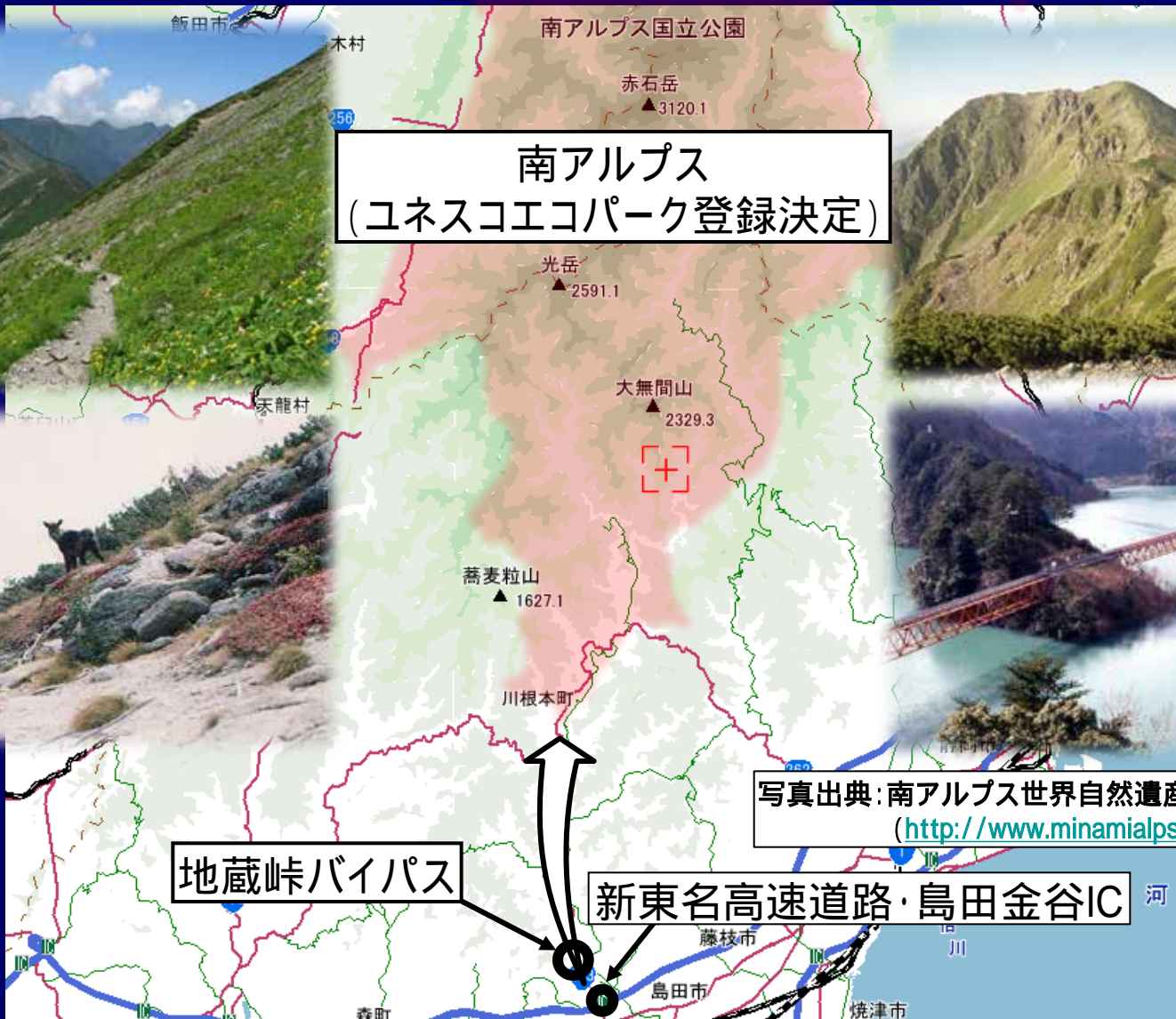


## < SPM排出削減量 >





# 6 事業を巡る社会経済情勢等の変化

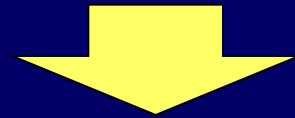


今後もアクセス道路としての利用が予想される

## 7 対応方針(案)

本事業により、

- ・安全で円滑な通行が可能となった。
- ・緊急輸送路の強化がなされた。
- ・広域観光・交流の促進がなされた。
- ・B/Cが「1.55」と「1」を上回っている。
- ・「新東名高速道路・島田金谷ICからのアクセス道路」としての機能は、本路線の整備の重要性をいっそう高めている。



**事業効果は十分発現しており、改善措置の必要はない**

## 7 対応方針(案)

### 今後の課題・対応

引き続き、本事業区間に隣接する現在事業中の地蔵峠バイパス(L=420m)の整備を進め、幹線道路ネットワークとしての効果が発現されるよう努めていく。

### 同種事業への反映等

本事業のような山間部の道路整備には、B/Cの他、「救急医療搬送の拡充」や「観光客の誘致」など、広域的な効果が存在する。同種事業についても、これらの効果を把握しながら広域的な道路整備に取り組んでいく。